

豊小っ子だよ!

竹田市立豊岡小学校
2024年8月26日
文責：安東 紀代美



豊岡小 HPへ

2学期スタートです!

静まり返った校舎に、子どもたちの元気な声もどってきました。子どもたちの笑顔からは、“2学期もがんばるぞ!”という気持ちを感じられます。2学期は、運動会、親子レクリエーション大会、瀧音楽祭、騎牟礼城址公園祭りなど、たくさんの行事が目白押しです。今学期も子どもたち32人と職員12人、そして、保護者、地域の方々と一緒に元気に活動していきたいと思います。よろしくお祈いします。

さて、先日の20日(火)に学校運営協議会が開かれました。学校運営協議会では、地域、保護者、学校の代表が集まり、子どもたちの様子をもとに学校運営について話し合います。学校からは、1学期の成果として、基礎・基本の学力が順調に定着していること、授業での話し合い活動が活発になってきていること、主体的に考え行動する力が徐々についてきていることを説明しました。また、課題としては、子どもたちのメディアへの向き合い方に課題があることや、思考力・判断力・表現力においてさらに力をつける必要があることを説明しました。

今回の協議では、地域・保護者の代表の方々と、生活習慣等子どもたちの自立に向けた成長を支えるために、さらにコミュニケーションを図り、連携を強化していく大切さについて話し合うことができました。

今後も、なお一層のご理解とご協力をよろしくお祈いいたします。



『努力の壺』をあふれさせよう!

始業式のあいさつで、『努力の壺』という話をしました。これは、『朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文25選』(1998年 明治図書)の中の作文に出てきます。よく使われるお話なので、聞いたことがある(読んだことがある)方もいらっしゃるかもしれませんが、今回は、子どもたちに伝わりやすいように、少しアレンジしています。紹介します。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、目に見えない『努力の壺』のような物が心の中にできるそうです。その壺の中に一生懸命「努力」の水を入れていき、それが少しずつたまって、「努力」の水があふれる時、できるようになるということです。



できた!

ところが、その壺には、4つの特徴があることが分かっています。

1つ目は、壺の大きさが人によって違うということです。努力して、すぐにできるようになる人もいれば、なかなかできるようにならない人もいるでしょう。すぐにできるようにならない時は、壺に努力の水がたまっているときなので、あきらめずに努力を続けることが大切です。

2つ目は、努力の水を入れ続けなければ、水は乾いてなくなってしまうということです。努力を続けていると、少しずつよい変化を感じることでしょう。でも、ここで油断して努力することをやめてしまうと努力の水は乾いてしまって、最初から入れなくてはなりません。こつこつ努力し続けることが大切です。

3つ目は、努力の水が一度でも壺からあふれ出れば、多少減ることはあっても、なくなってしまうことはないということです。なわとびやかかけ算九九も、一度できるようになったことは、全くできなくなってしまうことはないでしょう。ちょっと努力すれば、またできるようになります。

4つ目は、大人の壺より子どもの壺の方がずっと小さいということです。子どもと大人と一緒に努力し始めたら、子どもの方がすぐに上達するのです。まわりの大人が、「今のうちにがんばらないと大人になってから困るよ。」と言うのは、そういうことです。

子どもたちは、この話を真剣に聞いていました。ご家庭でも、話題にして、励まし、支えてください。

がんばるぞ！



8月6日 平和を願って・・・

8月6日（火）、「平和を願う日」として、平和集会と特設平和授業を行いました。平和集会では、読み聞かせボランティアの保護者の方々が、絵本『へいわとせんそう』『せんそう しない』の2冊を読んでくださいました。

「平和なときの顔」「戦争のときの顔」など様々な比較があり、シンプルゆえに子どもたちの想像力をかき立て、「平和とは」「戦争とは」について考えさせられました。保護者の皆さんの絶妙な間合いとしっかりと静かな語り口が、子どもたちを引き込んでいきました。

感想では、「戦争をしてはいけない。平和になるように、もっと平和の学習に取り組みたい。」などの平和を願う言葉がたくさん聞かれました。

また、校長の話の中で、一昨年6月23日沖縄慰霊の日に朗読された小学校2年生の徳元穂菜さんの詩を紹介しました。平和について考えるとき、戦争について事実を知ること、たくさん想像することがとても大切だと思います。



※熱中症対策をとりながら活動しますが、子どもたちの体調管理をよろしくお願いします。